

『北海道クルーズ・旅客船メルマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 小 樽：「飛んでクルーズ北海道」今年も小樽から出港！  
～「にっぽん丸」船内にて出発式を開催～
2. 情 報：「にっぽん丸」の乗船モニター、船内見学会の当選者決定！  
～たくさんのご応募ありがとうございました～
3. 室 蘭：「オーシャン・ドリーム」初入港  
～桜蘭中学校の吹奏部の演奏で歓迎～
4. 情 報：「北海道観光ふりーぱす」フェリー特別割引運賃を発売中  
～高速道路料金とフェリー運賃がダブルでお得！～
5. 全 道：災害のない安全な職場を目指して！  
～令和元年度（第63回）船員労働安全衛生月間の実施～
6. 情 報：食欲の秋 美味しい函館を味わいに来ませんか？  
～9・10月のグルメイベントをご紹介します～
7. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol. 53！  
～「飛んでクルーズ北海道」始まりました！～
8. 事務局からのお知らせ

1. 小 樽：「飛んでクルーズ北海道」今年も小樽から出港！  
～「にっぽん丸」船内にて出発式を開催～

小樽港を発着港として運航している定点クルーズの「飛んでクルーズ北海道」が、14年目を迎えました。

今年の第1便（Aコース）が出港する8月30日（金）には、小樽港クルーズ推進協議会及び北海道クルーズ振興協議会の主催による「出発式」が小樽港第3埠頭の「にっぽん丸」船内で開催されました。

式典では、迫小樽市長と北海道クルーズ振興協議会代表世話人である阪本北海道運輸局次長による歓迎の挨拶や、ミスおたるの西田さんから仙田船長への花束贈呈が行われるなど、終始なごやかな雰囲気でした。また、式典終了後には、恒例の潮太鼓でお見送りをおこないました。

お見送りの様子については、小樽観光協会のホームページで紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

○一般社団法人小樽観光協会「おたるぽーたる」  
<https://otaru.gr.jp/tourist/2019cruise8-30niponmaru2>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

2. 全 道：「にっぽん丸」の乗船モニター、船内見学会の当選者決定！  
～たくさんのご応募ありがとうございました～

8月2日に募集を行っていたクルーズモニター（1組2名募集）及び

クルーズセミナー&船内見学会（60名募集）にはそれぞれ約100通ものご応募をいただきました。  
厳正な抽選により当選者を決定し、各々の当選者の方には、当選通知をお送りさせていただいております。

このクルーズセミナー&船内見学会は、商船三井客船（株）様のご協力のもと、（一社）日本外航客船協会、小樽市、北海道クルーズ振興協議会、小樽港クルーズ推進協議会の共催により小樽港において実施するもので、中でも、郵船トラベル株式会社一般旅行部副部長の宮嶋久国氏を講師にお招きするクルーズセミナーでは、クルーズ旅行の魅力、楽しさ、素晴らしさを実感できることと思います。  
当選された方は、当日をお楽しみに！

「飛んでクルーズ北海道」のクルーズモニターの当選者につきましては、こちらからご覧いただけます。

[https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise11\\_tonde2019win.html](https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise11_tonde2019win.html)

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

### 3. 室 蘭：「オーシャン・ドリーム」初入港 ～桜蘭中学校の吹奏部の演奏で歓迎～

---

令和元年8月19日（月）「オーシャン・ドリーム」（35,265トン）が室蘭港に初入港しました。

室蘭市主催の歓迎セレモニーでは、青山室蘭市長から歓迎の挨拶と、花束が贈られました。

地元桜蘭中学校の吹奏部50人による演奏では、デッキや岸壁の乗船客から再三のアンコールにより、予定時間を30分延長され、大きな拍手や歓声を浴びていました。

上陸した乗船客は登別温泉、洞爺湖、昭和新山、有珠山、地球岬などの室蘭市内など、さまざまなオプションツアーで地元の観光を満喫してまいりました。

また、岸壁では「室蘭やきとり」などの露天も出店されました。

今年度のクルーズ客船の寄港は今回で終了しましたが、「クイーン・エリザベス」をはじめ、初寄港が4隻となりました。

今後、大型船や初寄港の客船が増えることを期待いたします。

<問い合わせ先>

北海道運輸局 室蘭運輸支局入江町庁舎 矢島  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---

### 4. 情 報：「北海道観光ふりーぱす」フェリー特別割引運賃を発売中 ～高速道路料金とフェリー運賃がダブルでお得！～

---

NEXCO東日本北海道支社では、本州と北海道を結ぶフェリーを利用してマイカー等で旅行されるお客さまを対象に、北海道の高速道路が定額で乗り降り自由となるETC車限定のドラ割「北海道観光ふりーぱす」とフェリー特別割引運賃がセットになった、大変お得なサービスを令和元年11月5日（火）まで実施しております。

※各フェリー会社によって利用できる期間及び条件が異なりますので、詳細については各フェリー会社にご確認願います。

フェリー運賃と高速道路乗り放題がダブルでお安くなりますので、この機会にフェリーでお車と北海道へ旅行に来てみませんか？

詳細はNEXCO東日本の情報サイト内の「北海道観光ふりーぱす」のページをご確認ください。

○「北海道観光ふりーぱす」のページ

[https://www.driveplaza.com/trip/drawari/2019\\_hokkaido/ferry\\_waribiki.html](https://www.driveplaza.com/trip/drawari/2019_hokkaido/ferry_waribiki.html)

▼【対象フェリー事業者（航路）】

○シルバーフェリー（八戸－苫小牧、宮古－室蘭）

<https://www.silverferry.jp/>

○青函フェリー（青森－函館）

<http://www.seikan-ferry.co.jp/>

○商船三井フェリー（大洗－苫小牧）

<https://www.sunflower.co.jp/>

○津軽海峡フェリー（青森/大間－函館）

<https://www.tsugarukaikyo.co.jp/>

○太平洋フェリー（仙台/名古屋－苫小牧）

<http://www.taiheiyo-ferry.co.jp/>

○新日本海フェリー（舞鶴/新潟－小樽、敦賀/新潟/秋田－苫小牧東）

<http://www.snf.jp/>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 村野

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

---

## 5. 全 道：災害のない安全な職場を目指して！

～令和元年度（第63回）船員労働安全衛生月間の実施～

船員労働安全衛生月間は、海上における船員労働安全衛生思想の普及、船舶所有者及び船員による自主的な安全衛生活動の促進等により船員災害の防止を図ることを目的とした運動で、今年度で63回目を迎えます。

9月1日～9月30日までの期間中、『元気に乗船 無事故で下船 笑顔で帰宅のゼロ災害』をスローガンに、道内各地区の船員労働安全衛生協議会が主体となり、安全衛生講習会、訪船指導及び無料健康相談などの諸活動を展開し、海上労働における死傷災害や疾病の防止を目指します。

各地区における行事計画は、こちらをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/senpaku/gekkan/01keikaku.pdf>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海上安全環境部 船員労働環境・海技資格課 山北・矢木

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

---

## 6. 情 報：食欲の秋 美味しい函館を味わいに来ませんか？

～9・10月のグルメイベントをご紹介します～

函館は、美しい夜景や新鮮な海の幸、伝統的な街並みなどが人気の年間500万人以上が訪れる観光都市です。

クルーズ客船についても、近年寄港回数が増加しており、今年度は過去最多の53回の寄港が予定されています。8月21日には寄港回数が

通算500回目を迎え、記念セレモニーが行われました。昨年供用開始した若松埠頭の効果もあり、函館には新たな賑わいが生まれています。今回は、そんな函館で開催される食欲の秋にぴったりのグルメイベントをご紹介します。

【はこだてグルメサーカス2019】

日本各地から、世界から、函館とゆかりのある都市のご当地グルメが勢ぞろいする、函館最大級の食のイベント。函館市内や近郊からも人気の味がずらりと並び、人気店は早々に完売するので、事前のチェックがおすすめ！

開催日 : 9月7日(土)～8日(日)  
開催時間 : 10:00～17:00(最終日は16:00終了)  
会場 : はこだてグリーンプラザ・函館朝市第一駐車場  
[特別企画会場:太陽パーキング]

詳しくは下記サイトをご覧ください。

⇒はこだてグルメサーカス公式サイト <http://www.hakodate-gc.com/>  
⇒函館イベントガイド <https://event.hakobura.jp/1310>

【函館いか祭り】

函館と言えばやっぱり「いか」。函館っ子自慢のいかを存分に味わえるいかづくしのイベントがあるのをご存じでしょうか？恒例の朝いか丼は行列必至の人気商品。新鮮で透明、コリコリのいかの食感は地元でしか味わえない！この機会に足を運んでみては。

開催日 : 10月5日(土)～6日(日)  
会場 : はこだてグリーンプラザ

⇒函館イベントガイド <https://event.hakobura.jp/3964>

上記のほかにも、函館では様々なイベントが行われています。365日、いつ来てもワクワクがいっぱいの「フェスティバルタウンはこだて」。

☆イベント検索は函館市公式サイトから↓☆  
<https://event.hakobura.jp/>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 観光部 国際観光課 ミツ井  
<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

---

7. 情報 : 「クルーズなんでも屋」vol. 53 !  
～「飛んでクルーズ北海道」始まりました！～

---

北海道クルーズのヒット商品である、商船三井客船「にっぽん丸」での「飛んでクルーズ北海道」が8月30日から始まりました。

日本国内において、定期定点クルーズの先駆けとして誕生した「飛んでクルーズ北海道」ですが、小樽～利尻(礼文)～羅臼を3泊4日で往復するコースとなっており、日程的に短いのが特徴です。

新たな顧客層を開拓する画期的な商品となっていて、若い層を取り込むなど、非常に大きな成果を上げています。

また、フライ&クルーズとして、首都圏から飛行機との組み合わせによる商品も販売され、北海道観光とショートクルーズが一体となった商品もあり、多様なニーズに対応出来る強みもあるようです。

特出すべきなのは地域との関わりです。  
羅臼港での取り組みとして「知床・羅臼ダイニング」を紹介します。

地域の特産品を食したりお土産にしたりするのもクルーズの楽しみの一つですが、「知床・羅臼ダイニング」は「飛んでクルーズ北海道」だけに設定された商品です。

船社が用意した装飾品により飾り付けをされた会場で、地域ならではの食材を活かした食事を取ることが出来ます。運営（スタッフ）は地域の方々によって支えられているとか。

まさに船社と地域が一体となった信頼関係からできた仕掛けですね。  
※詳細は下記にある「かもめ課長のブログ」を参照してください。

初めてのクルーズデビューとしてはうってつけの商品です。  
「クルーズ」を体験・経験してみたいとお考えの方は、参考にしてみてください  
はいかがでしょうか！

「知床・羅臼ダイニング」とは  
羅臼町は「魚の城下町」と呼ばれるほど海産物に恵まれた港町。  
この地で獲れた絶品の数々を召し上がっていただきたいと、船社と地元の方々協力し、特設会場「知床・羅臼ダイニング」をオープンします。  
羅臼昆布や鮭・いくらなど、豊富なメニューを追加料金なしでお召し上がりいただけます。

#### かもめ課長のブログ

ホーム/かもめ課長のブログ/飛んで北海道3日目：羅臼寄港  
飛んで北海道3日目：羅臼寄港 国内クルーズ 2017.09.03  
<https://www.nipponmaru.jp/kamome-blog/20170903115918/>

#### 飛んでクルーズ北海道 Cコース

ホーム/クルーズを探す/飛んでクルーズ北海道 Cコース  
<https://www.nipponmaru.jp/cruise/190905/>

#### <問い合わせ先>

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

---

## 8. 事務局からのお知らせ

---

事務局では、会員の皆様からの、ネタを募集しております。  
クルーズ船が入港する、現場でしかわからない情報などは、特に歓迎いたします。  
ただし、記事の構成上、必ずしも掲載をお約束できませんので、その際はご容赦ください。

### ▼1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。  
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

### ▼2

購読新規登録はこちらから  
[http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13\\_1.html](http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html)

### ▼3

登録変更  
件名を【登録変更】とし、変更前・後のメールアドレスをご記載の上、

当メールにご返信願います。

▼4

登録解除

件名を【登録解除】とし、登録解除アドレスをご記載の上、当メールにご返信願います。

---

北海道クルーズ振興協議会 事務局  
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部  
旅客・船舶産業課 野村 健  
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021  
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

---